

# 中部地域

静岡市

島田市

焼津市

藤枝市

牧之原市

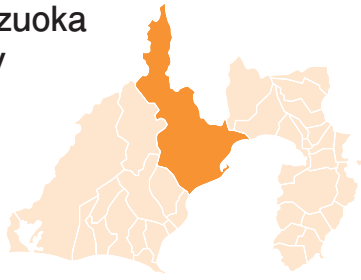
吉田町

川根本町



# 静岡市

Shizuoka City

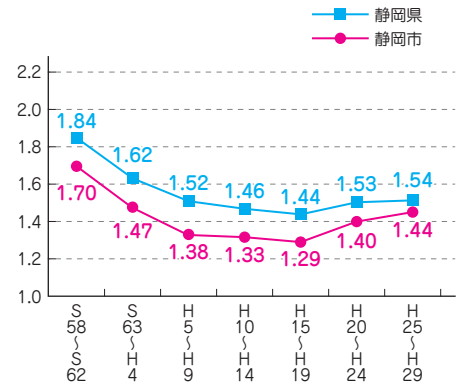


## 合計特殊出生率 [H25~H29]

# 1.44

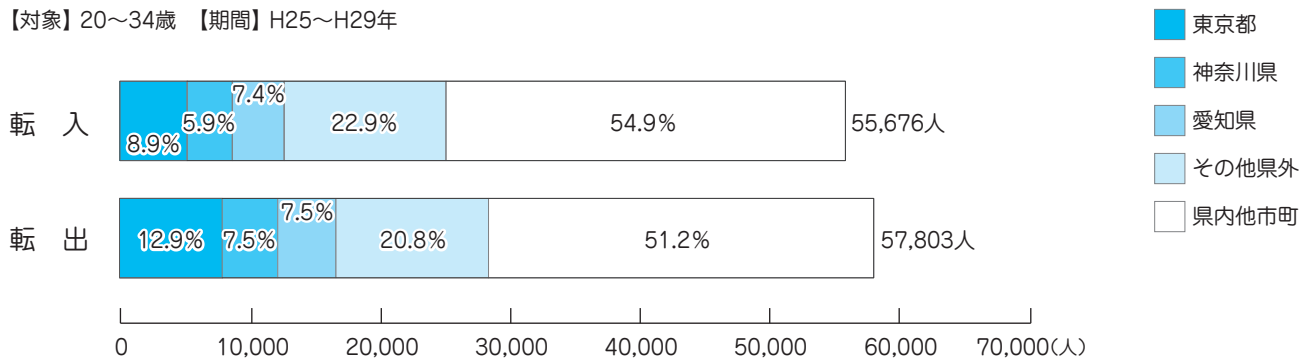
- 人口 698,275人
- 世帯数 317,923世帯
- 総面積 1,411.83km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



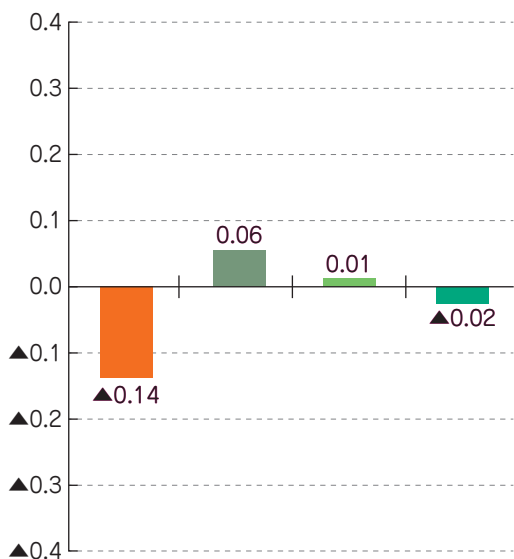
## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

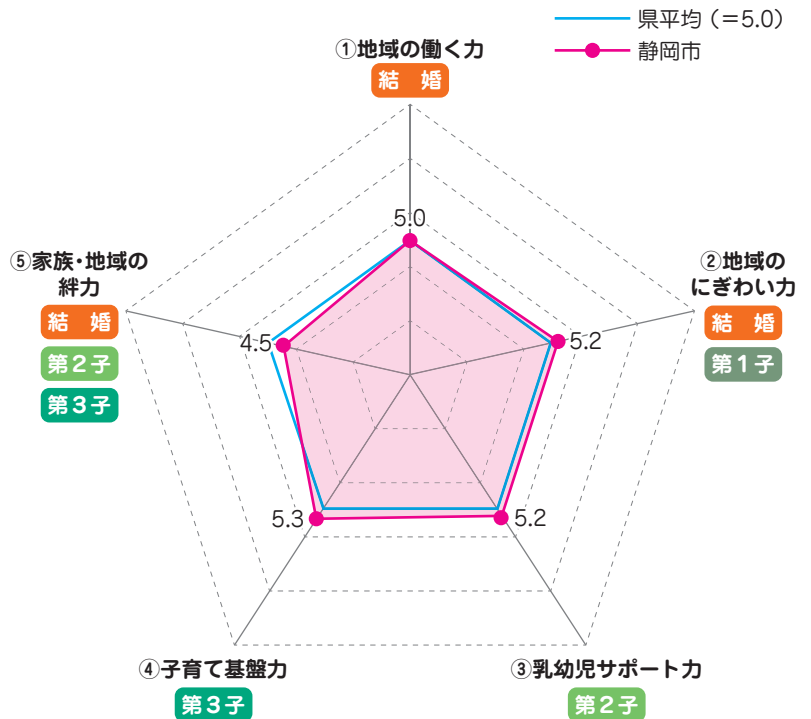


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因  
出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「②地域のにぎわい力」は県平均を上回ったものの、「⑤家族・地域の絆力」は県平均を下回っており、②と⑤の効果が打ち消し合い、▲0.14になったと考えられる。

#### 第1子要因

「②地域のにぎわい力」は県平均を上回っており、+0.06につながったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### しずおかエンジェルプロジェクト

#### 《目的》

少子化の主な要因である未婚化・晩婚化への対策として、官民連携による出会いの機会づくりや地域ぐるみで結婚を応援する機運の醸成に取り組むとともに、結婚後の経済的負担の軽減を図る。(H26～)

#### 《概要》

##### 【内容】

- 出会いのイベントの開催（独身男女、親対親）
- 婚活サポーターの養成、活用（成立カップルへのフォローアップ等）
- 情報発信・意識啓発（民間企業との連携による冊子発行等）
- 婚活・カップル応援企業の募集
- 結婚新生活支援補助金

##### 【婚活イベントにおけるこれまでの実績

(H26～R2.10月末時点)】

- カップル成立数 436組
- 結婚・婚約組数 18組



出会いのイベントの風景



官民連携による情報・啓発冊子の発行

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● 出産後のお母さんを支援！～「産後ケア」・「ママケアデイサービス」～

母体のケアや母親のリフレッシュの機会の提供など、出産後から乳児期の子育てを切れ目なくサポート。

### ● 身近な場所で子育てを支援！～約250か所で子育て相談や交流イベントを実施～

子育てサロンや子育て講座、イベントを通じた交流や子育てに関する相談等を、市内約250か所で実施。身近な場所で子育て支援が得られる環境を整え、乳幼児期の子育てをサポート。

### ● 待機児童対策を強力に推進！～3年連続で保育所等の待機児童ゼロを実現～

保育施設の増改築等への助成や新たな施設の設置、幼稚園の認定こども園への移行促進などにより、4,000人を超える保育定員を拡充し、平成30年以降、年度当初の待機児童ゼロを継続。

## 6 首長からひとこと

### 子どもの育ちを市民が一体となって支え、 人とのつながりの中で、すすんで社会に参画する若者をはぐくみます



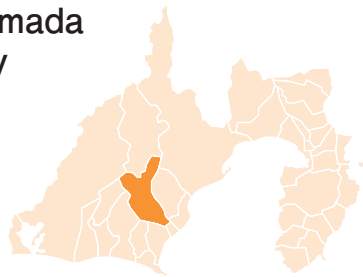
子どもは社会の希望であり、未来を拓くかけがえない存在です。

人と人とのあたたかな繋がりの中で、誰もが安心と喜びをもって子どもを生み育て、また、すべての子どもたちが健やかに成長していくよう、妊娠、出産から、乳幼児、学童、青年期に至るまで、切れ目のない支援を講じていきます。

静岡市長 田辺 信宏

# 島田市

Shimada City

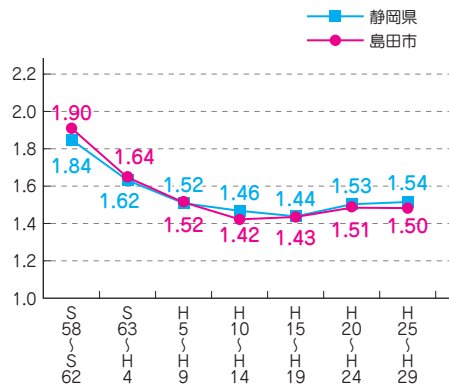


合計特殊出生率  
[H25~H29]

1.50

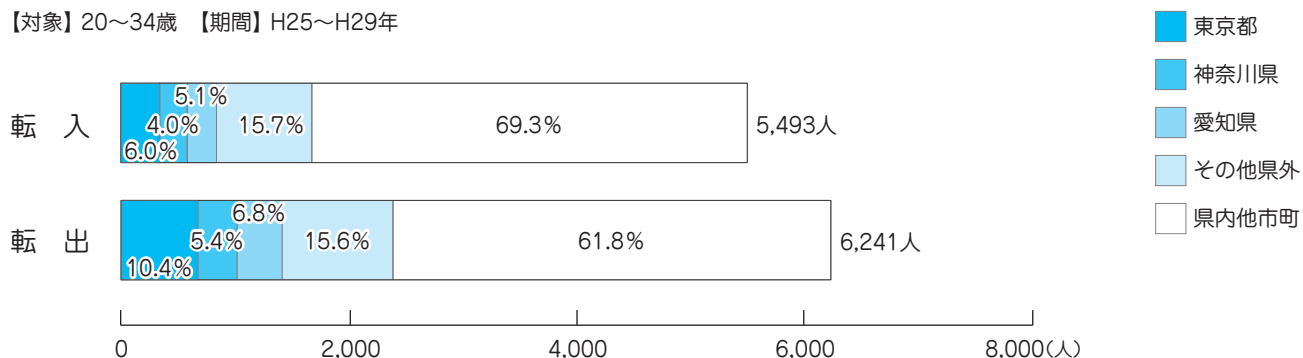
- 人口 98,282人
- 世帯数 38,186世帯
- 総面積 315.70km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

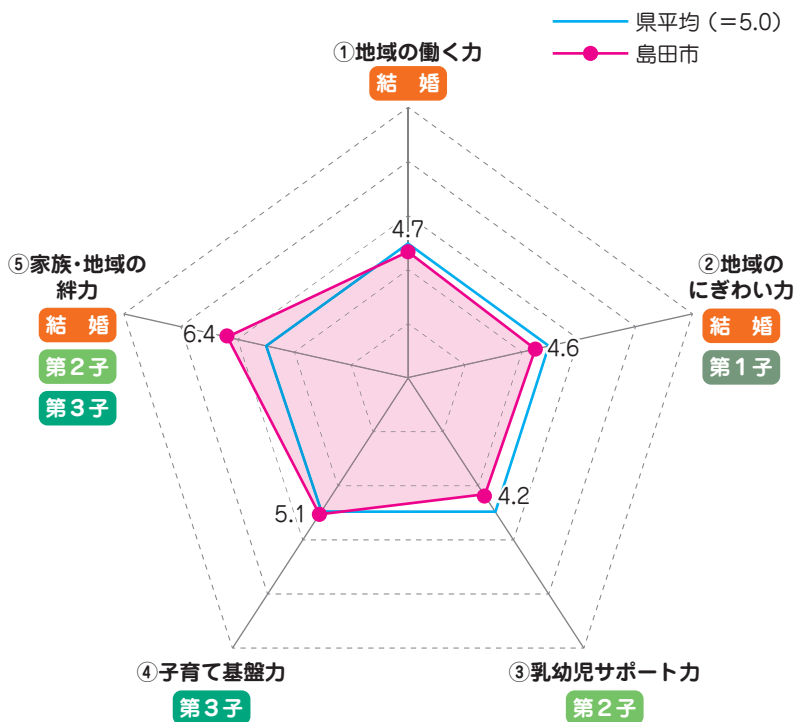


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因 出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回ったものの、「①地域の働く力」「②地域のにぎわい力」は県平均を下回っており、⑤と①②の効果が打ち消し合い、▲0.04になったと考えられる。

#### 第2子要因

「③乳幼児サポート力」は県平均を下回ったものの、「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っており、+0.01につながったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 県内最多112団体が加入する子育て支援ネットワーク(令和2年12月現在)

#### 《目的》

子育て支援にかかわる団体が連携して大きなネットワークを作ることにより、島田市の子育て支援の充実を図る。(平成19年度設立)

#### 《概要》

島田市では多くの支援団体が活躍しており、より安心・安全で子育てしやすいまちになることを願い、さまざまな支援を行っている。

- 会員同士の情報交換による連携の強化、スキルアップ研修
- 子育て応援メッセージ「ひとりじゃないでね」の発信  
「どの団体も子育て家庭をいつでも応援していますよ。」という想いをメッセージに込めてイベント等で周知、活動。
- 子育てコンシェルジュとのコラボ  
市の子育てコンシェルジュが、子育てに必要な情報などを気軽に提供する講座や相談会を開催。



子育て支援ネットワーク 全体研修会



ひとりじゃないでね  
you are not alone

子育て応援メッセージロゴマーク

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● 島田市版ネウボラ推進事業(令和元年度導入 県内初)

すべての家庭に母子健康手帳交付時から担当保健師を配置し、妊娠期から出産・子育て期にかけて同じ保健師が継続的に支援し、相談しやすい関係づくりを構築。

\* ネウボラ：フィンランドで長年行われている母子保健システム

### ● 子育て世代に選ばれるまち

0歳～9歳の子と、その親世代である30代は、7年連続で転入超過。(平成26年～)

### ● ハローワーク島田お仕事相談室「ママハロ」の設置(平成30年8月開設 県内初)

子育て中のママ等を対象に、相談から就労支援まで市とハローワークが一体となって応援しています。子育てなどに関する相談と一緒に、ワンストップで仕事の相談が可能。

## 6 首長からひとこと

### 子育てしやすいまち パパ・ママに寄り添うまち 子育て応援都市 島田



島田市では、子育てにかかる様々な負担の軽減や不安の解消を図り、地域全体で子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。その一つとして、子育てに関する様々な情報を子育て応援サイト「しまいく」やLINEで発信し、このまちで子育てしたくなる、子どもにも親にもやさしい子育て応援都市を目指しています。

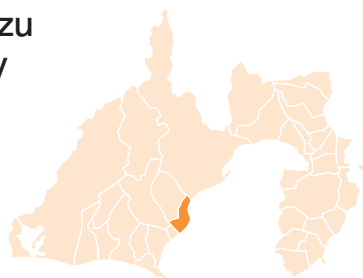


島田市子育て応援サイト「しまいく」QRコード

島田市長 染谷 絹代

# 焼津市

Yaizu City

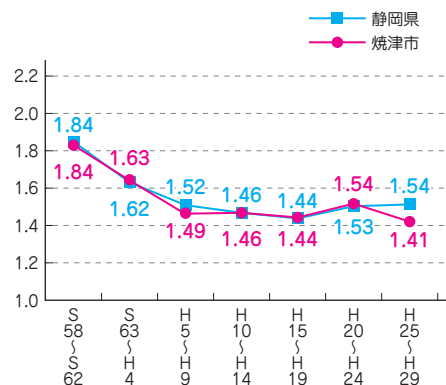


合計特殊出生率  
[H25~H29]

1.41

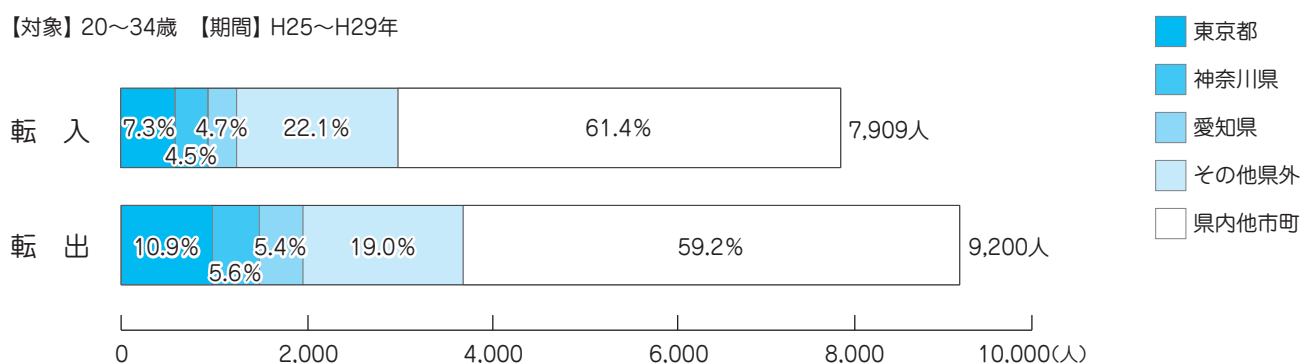
- 人口 139,435人
- 世帯数 57,785世帯
- 総面積 70.31km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

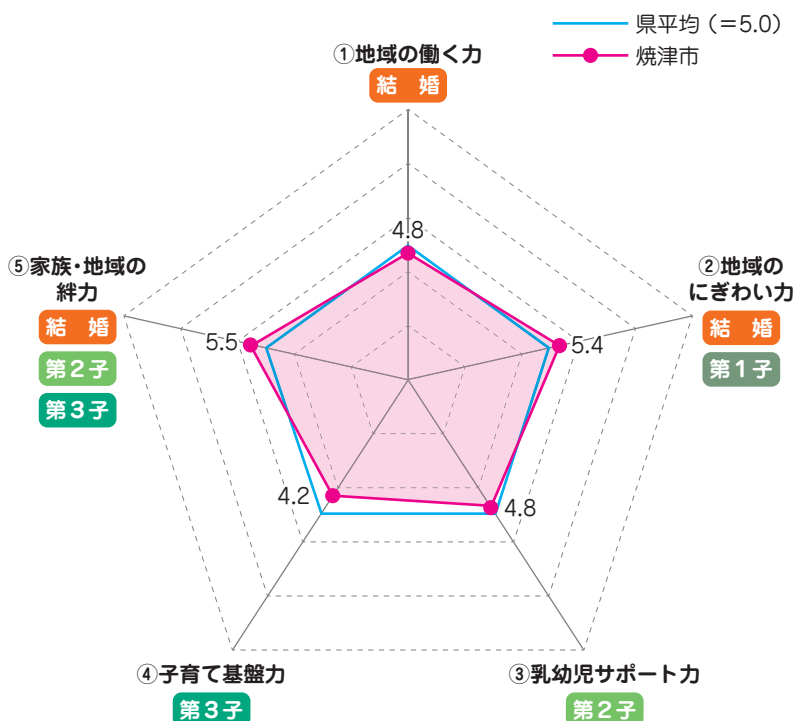


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因 出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「②地域のにぎわい力」「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回り、「①地域の働く力」は県平均を下回ったものの、今回分析対象とした指標以外の「独自の地域特性」の影響により、▲0.04になったと考えられる。

#### 第3子以上要因

「④子育て基盤力」は県平均を下回ったものの、「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っており、④と⑤の効果が打ち消し合い、0.00となったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 子どもの居場所づくり 「ターントクルこども館」2021年夏開館予定

#### 《目的》

未来を担うすべての子どもたちが、健やかに成長していくために、集い・遊び・学びの複合的な機能を配置し、子どもを中心とした多世代交流ができる子育て支援の拠点を整備する。

#### 《概要》

- ①おもちゃ美術館（2階・3階）  
焼津の「海」を感じる遊びの空間  
「山とくらし」がテーマの遊びの集合空間
- ②こども図書館（1階・1.5階）  
絵本を通じて新たな世界と出会える空間
- ③飲食スペース、芝生広場（1階）  
くつろぎ・憩いの空間

たくさんの絵本と木のおもちゃのぬくもりに触れて、遊んで学べる施設です。



ターントクルこども館（イメージ図）

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● 出会い、結婚をサポート

地域全体で結婚を望む男女の出会いを支援するため、マッチングサイトや婚活イベントを実施。制度を利用して出会った男女の結婚成立をサポート。

### ● 子育て世帯への経済的負担の軽減、住宅取得の支援

高校3年生までの医療費を自己負担0円とするほか、第2子以降の保育料の助成や、副食費の無料化（所得等の要件あり）、予防接種費用を助成。

また、市内の対象区域に土地を購入し、住宅を新築又は購入（建売住宅又は新築分譲マンション）する子育て世帯に対して最大120万円を助成し、区域内の定住人口が大きく増加。

### ● 学校教育のサポート体制強化

市内の小学校1年生の全クラスに「小1サポーター」を配置し、小学校入学後の学びや集団生活を支援。また、放課後や夏休みにステップアップ教室を開催して無料の学習支援を行い、学力向上に繋げる。

## 6 首長からひとこと

### 育てよう！明るい笑顔のやいづっ子

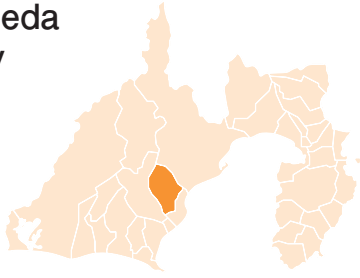


焼津市では、第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、結婚・妊娠から子育てまでの切れ目のない支援の充実や、子育てを地域全体で支える環境づくり等の施策に取り組んでいます。子育て世代が望む人数の子どもを安心して産み育て、子育てに喜びや生きがいを感じられるまちを目指していきます。

焼津市長 中野 弘道

# 藤枝市

Fujieda City

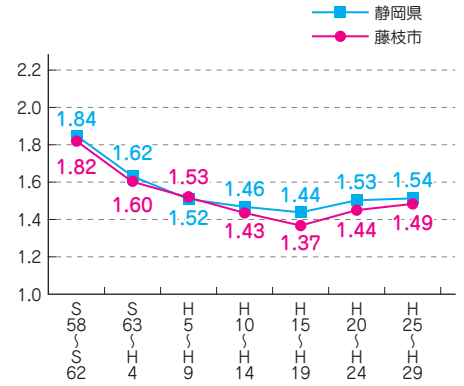


## 合計特殊出生率 [H25~H29]

# 1.49

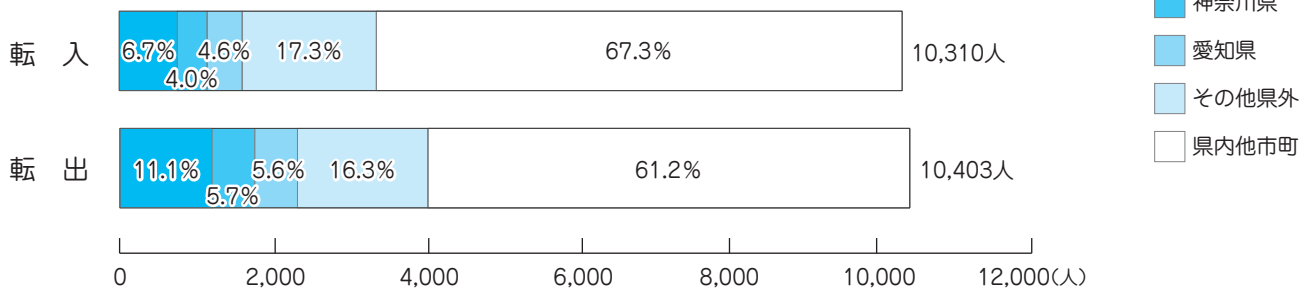
- 人口 144,662人
- 世帯数 59,674世帯
- 総面積 194.06km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

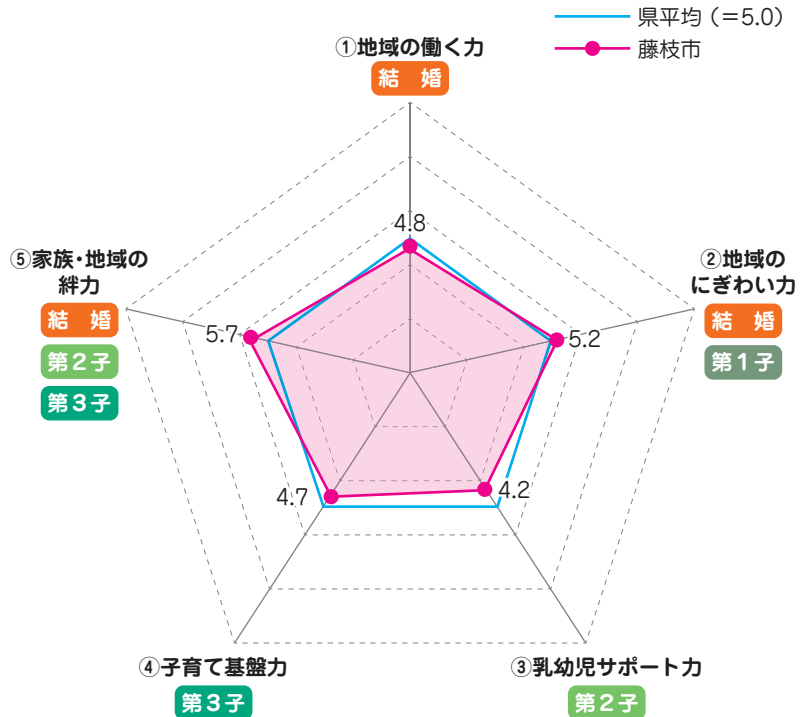


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因 出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「①地域の働く力」は県平均を下回り、「②地域のにぎわい力」「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っているものの、今回分析対象とした指標以外の「独自の地域特性」の影響により、▲0.02になったと考えられる。

#### 第2子要因

「③乳幼児サポート力」は県平均を下回ったものの、「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っており、+0.02につながったと考えられる。



## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 教育を受けるならふじえだ“笑顔あふれる教育日本一のまち”

#### 《目的》

「教育」を重点施策の一つに位置付け、ICTを活用した授業や科学教育など、先進的な取り組みを展開。子どもたちの個性を大切に、自分の力を十分に発揮しながら学べる環境を整備する。

#### 《概要》

- ICT教育の推進  
子どもたちの「未来を生き抜く力」を養うため、充実したICT教育環境を整備するとともに、その環境を最大限活用した授業を実施。
- 特別支援教育の充実  
特別支援教育支援員や学校生活支援員、学校看護師を学校に配置し、子どもたち一人一人に寄り添った途切れのない教育を展開。
- 英語教育の推進  
豊かな国際感覚や生きた英語力を身に付けるため、教員とALT（外国語指導助手）による授業を実施しているほか、ALTと触れ合いながら英語を学べるイベント「イングリッシュキャンプ」などを多数実施。
- デジタル化の推進  
欠席連絡や書類配布など、保護者と学校とのやりとりのデジタル化を推進し保護者の負担軽減と教員の働き方を改革。



タブレットを使用した授業の様子



子どもを見守る特別支援教育支援員

## 5 わがまちのアピールポイント

- **子育て支援施設が充実 ～「スポーツ」・「からだづくり」に特化した「れんげじスマイルホール」をリニューアル～**  
市内外を問わず多くの方に親しまれ、「蓮華寺池公園」との相乗効果により開設後3年で来場者50万人達成。令和2年4月に大型複合遊具等を更新し、施設の魅力や機能、利便性がさらに向上。
- **子育てと仕事の両立支援が充実 ～幼児教育・保育環境の向上を目指して～**  
平成30年度から3年連続で保育所利用待機児童ゼロを達成。官民連携で「保育士・幼稚園教諭の働きやすい職場づくり」に着手し、働き方改革によって幼児教育・保育の質が向上。

## 6 首長からひとこと

### “子育てするなら藤枝”smile city

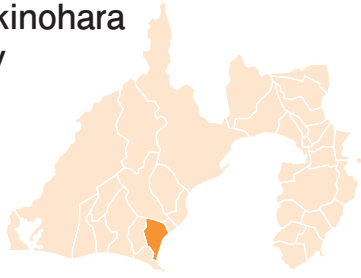


市民の暮らしに直結する4K（健康・教育・環境・危機管理）施策や中心市街地の利便性の高いまちづくりなどにより、子育て世帯を中心に転入者が着実に増加。若い世代が結婚や出産、子育てに希望を持ち安心して子どもを産み育てられる環境づくりと、子どもたちが将来の夢を持ち、たくましく生き抜く力を育むまちづくりを進めています。

藤枝市長 北村 正平

# 牧之原市

Makinohara City

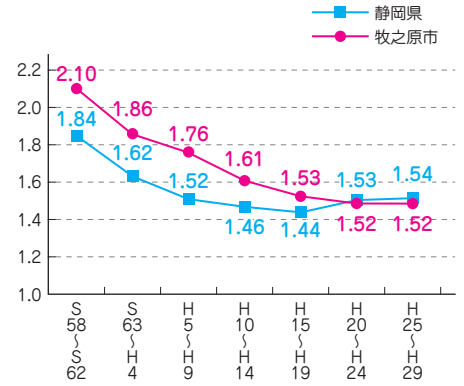


合計特殊出生率  
[H25~H29]

1.52

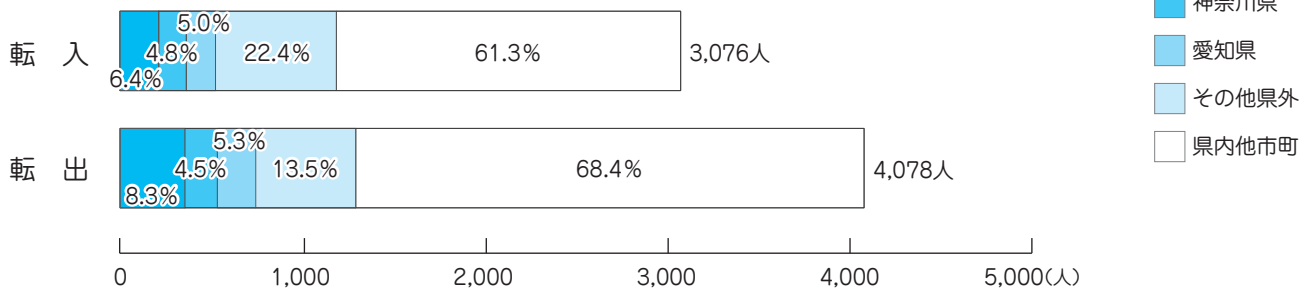
- 人口 45,623人
- 世帯数 17,050世帯
- 総面積 111.69km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



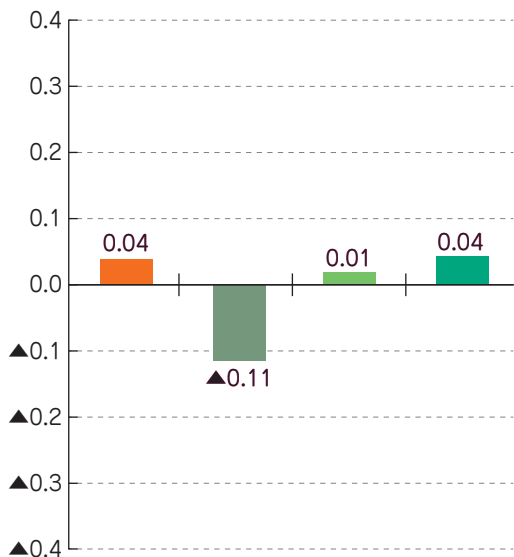
## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

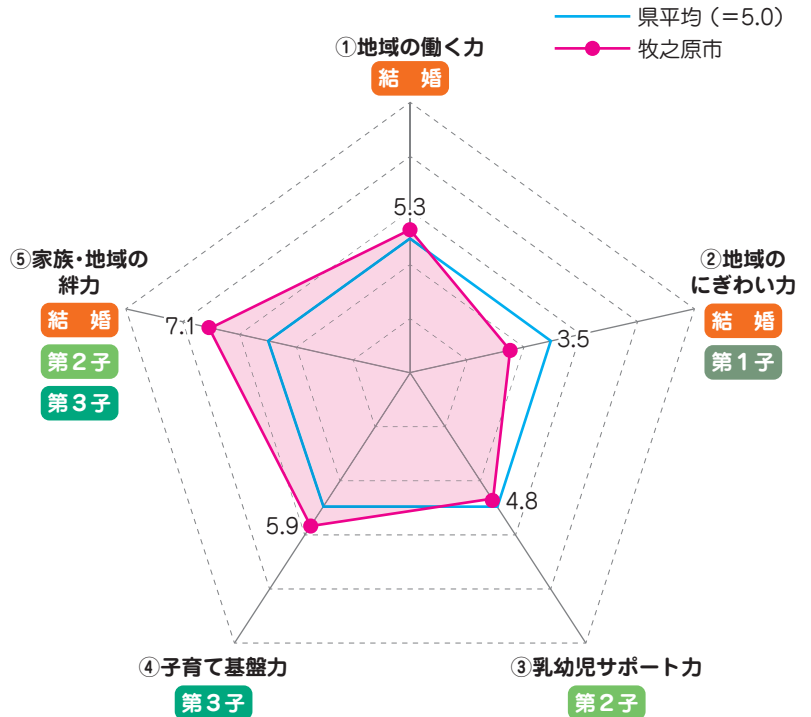


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因 出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「②地域のにぎわい力」は県平均を下回ったものの、「①地域の働く力」「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っており、+0.04につながったと考えられる。

#### 第3子以上要因

「④子育て基盤力」「⑤家族・地域の絆力」はいずれも県平均を上回っており、+0.04につながったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 魅力ある教育環境整備事業

#### 《目的》

学力だけでなく、人間力を育成する教育を行うとともに、地域・家庭・学校と一緒に子どもの育ちに関わる仕組みをつくるなど、「ここで子どもを育てたい」「安心して子育てができる」と思える魅力ある教育を行うための環境を整備する。

#### 《概要》

市では、これからどんな世の中になっても、子どもたちが自分の力で自分の未来を切り拓くことができる力を育むため、「キャリア教育を軸とした小中一貫教育と社会全体で子どもを育てる仕組みの構築」を進めている。その具体的な取組は、次の3つとなる。

- ① 総合の時間を活用したキャリア教育プログラムの実施
- ② 発達段階に応じた小中学校9年間のカリキュラム開発
- ③ 地域・家庭・学校が子どもの育ちや学びを共有して一緒に取り組むコミュニティ・スクールの実施

これらの取組の効果を高めるとともに、時代に対応した教育ができるよう学校の再編を進め、ソフトとハードが共に魅力的な小中一貫校を実現する。



学校再編市民意見交換会の様子



主体的に授業に取り組む子どもたち

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● 保育環境の充実・待機児童ゼロ

保育園、児童クラブの充実など、希望者が子どもを預けられる保育の受皿を確保。

### ● 豊かな自然を活かしたライフスタイル

健康的な食やサーフィンなどを楽しむ暮らしを実現。

### ● 産業集積と雇用の場

空・海・陸の交通インフラが整備され、大手の企業や研究所の集積により多様な働き場の場を確保。

## 6 首長からひとこと

### のびのびと子どもが育ち 今と未来と子育てを 地域で支え合う まきのほら



牧之原市は、多くの働き場や富士山静岡空港などの交通インフラがある強みに加えて、令和2年度には国内最大規模の人工造波プール「静波サーフスタジアム」の整備が進むなど、多くの人が訪れ、交流する拠点としての魅力が高まっています。

今後は、企業等と連携し、働きながら子育てできる環境の充実、魅力ある住宅地の提供などを進め、女性や子育て世代に優しい、子育てしやすいまちを目指して、「働き」、「暮らし」、「遊ぶ」魅力を更に高めていきます。

牧之原市長 杉本 基久雄

# 吉田町

Yoshida  
Town

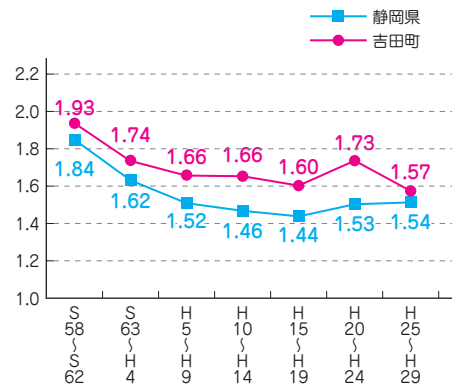


合計特殊出生率  
[H25~H29]

## 1.57

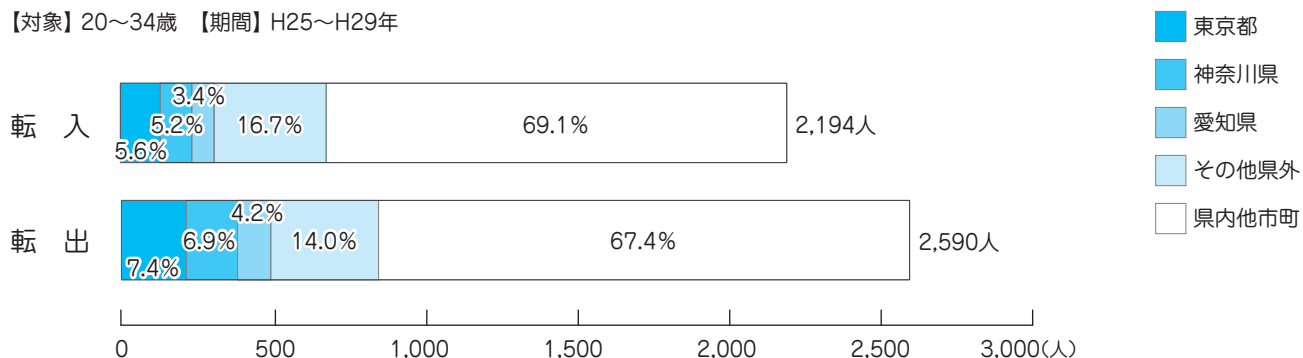
- 人口 29,604人
- 世帯数 11,478世帯
- 総面積 20.73km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



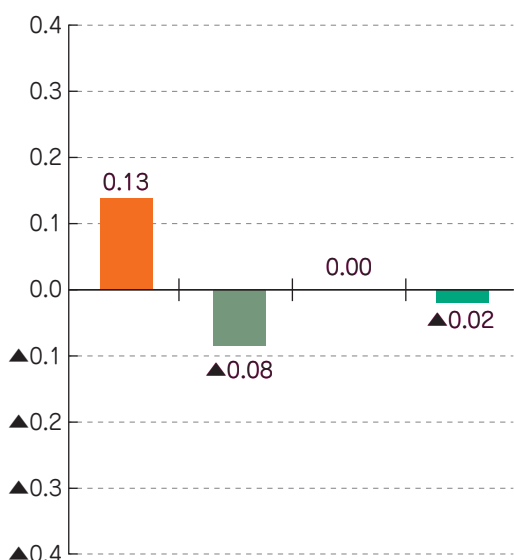
## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

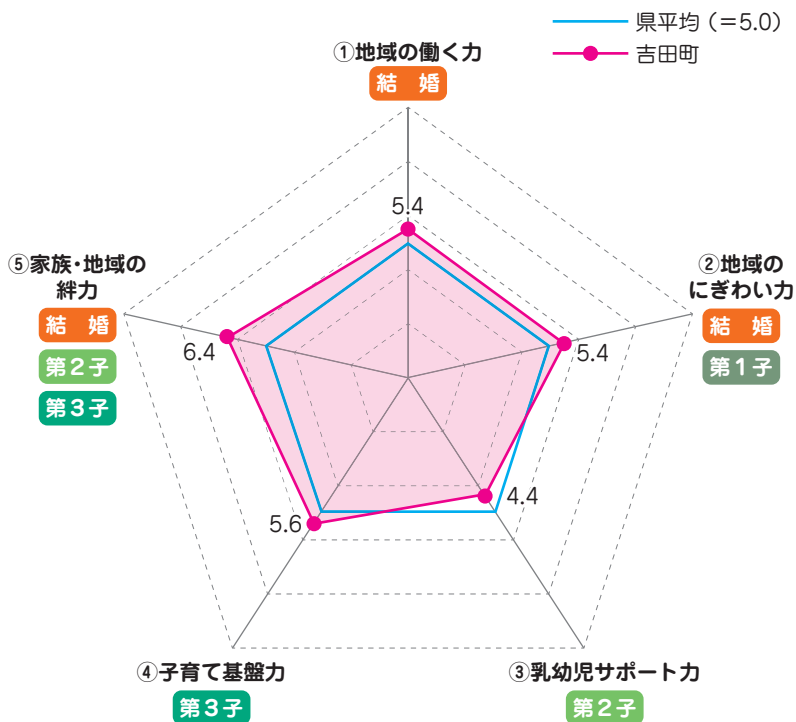


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因 出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「①地域の働く力」「②地域のにぎわい力」「⑤家族・地域の絆力」がいずれも県平均を上回っており、+0.13につながったと考えられる。

#### 第2子要因

「③乳幼児サポート力」は県平均を下回ったものの、「⑤家族・地域の絆力」は県平均を上回っており、③と⑤の効果が打ち消し合い、0.00になったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 放課後児童クラブの受け入れ拡大

#### 《目的》

保護者が、安心して仕事と子育てを両立できる環境をつくるため、様々な就労状況に即して、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保する。

#### 《概要》

- 施設整備を実施し、受入児童数を増加（令和元年度～）  
6クラブ→11クラブ
- 入所基準の緩和（令和元年度～）  
就労時間及び日数の基準を撤廃し、クラブ開所時間中に就労していれば、入所可能とした。
- 利用料の見直し  
第1子：7,000円/月、第2子：5,000円/月  
第3子以降：無料
- 開設時間  
平日：下校時～18時30分  
学校休校日：7時30分～18時30分



放課後児童クラブの様子

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● シーガーデンシティ構想

1000年に一度の巨大地震や大津波に備え、防潮堤整備などの津波防災まちづくりによる「新たな安全」と併せて、防災施設の活用による賑わいづくりを進め、「新たな賑わい」を創出。

### ● 四季折々の草花の観賞や様々なイベントが楽しめる吉田公園

広大な芝生広場と自然を感じられるビオトープ池などがあり、多くの家族連れで賑わっている公園。

### ● 心豊かな人を育む「TCP トリビンスプラン」

子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり、教職員が授業に専念できる環境づくり、保護者の教育ニーズに応じた環境づくりに取り組み、最良の教育環境を提供。

## 6 首長からひとこと

### 子どもたちが健やかにいきいきと育つよう みんなで子育てできるまち



津波防災まちづくりによる確固たる安全の下、「子育て」「教育」「健康づくり」といった「支える安心」の提供を目指しています。「吉田町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「子どもが健やかに育つ環境の整備」や「子育てにやさしい生活環境の整備」などに積極的に取り組み、皆様に選ばれる町づくりを進めてまいります。

吉田町長 田村 典彦

# 川根本町

Kawanehoncho  
Town

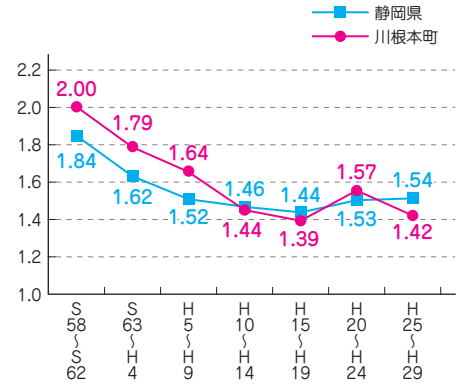


合計特殊出生率  
[H25~H29]

## 1.42

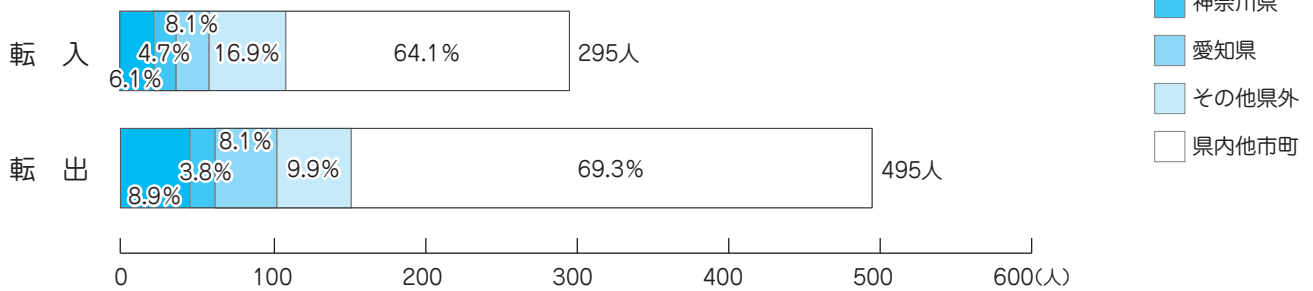
- 人口 6,649人
- 世帯数 2,869世帯
- 総面積 496.88km<sup>2</sup>

※令和2年1月1日現在



## 1 合計特殊出生率に影響を及ぼす転入・転出数

【対象】20~34歳 【期間】H25~H29年

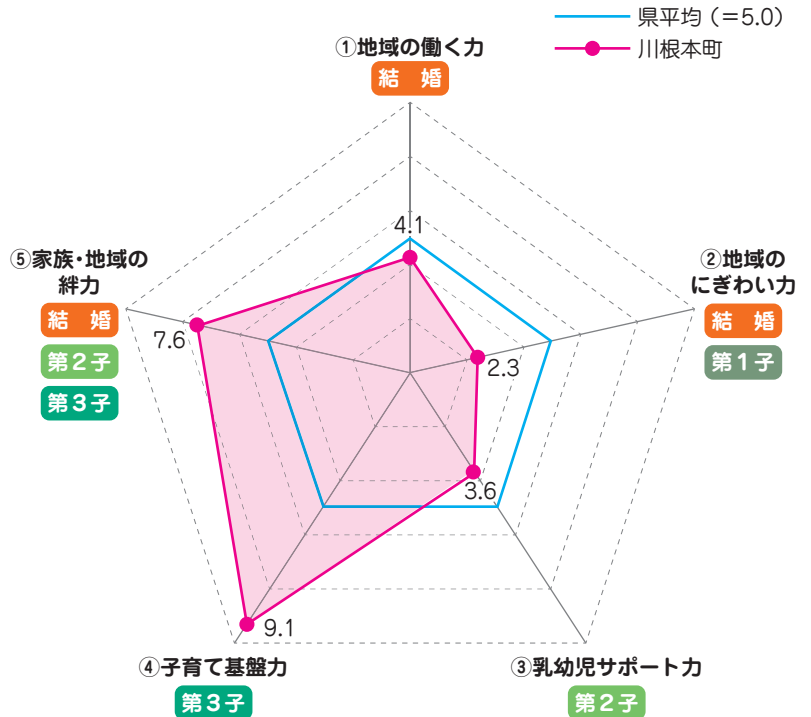


## 2 合計特殊出生率の要因分解

結婚要因  
出生力要因  
第1子 第2子 第3子以上



## 3 合計特殊出生率に影響を及ぼす新しい5つの地域力



### 「要因分解」の結果と「5つの地域力」との関係

#### 結婚要因

「⑤家族・地域の絆力」は県平均を大きく上回ったものの、「①地域の働く力」「②地域のにぎわい力」は県平均を下回っており、⑤と①②の効果が打ち消し合い、▲0.09になったと考えられる。

#### 第3子以上要因

「④子育ての基盤力」「⑤家族・地域の絆力」はいずれも県平均を大きく上回っており、+0.13につながったと考えられる。

## 4 少子化“突破”に向けた特徴的な取組

### 移住コーディネーターの設置

#### 《目的》

移住検討者への情報提供及び相談対応並びに定住・定着に向けた支援を実施。子育て世代を含めた移住者の増加を図る。

#### 《概要》

令和2年度より、川根本町移住コーディネーターを設置。

- 移住希望者等からの相談対応及び情報発信
- 移住体験イベントの実施及び移住者の受け入れ環境の整備
- 移住者の定住・定着に向けた支援
- 移住を推進する地域団体等との連携及び調整などを行い、移住者を増やし、併せて移住者を支援する。

#### 《令和2年度の取組》

- 子どものいる移住希望者に町の保育園・幼稚園の状況、小学校の授業の状況等、子育てに関する情報を提供。
- 各区長の協力を得て、空き家の実態調査を実施し、空き家バンクの物件登録を推進。



「働く」と「子育て」を重点とした「移住定住ガイドブック」を発行

## 5 わがまちのアピールポイント

### ● お試し移住体験事業

一定期間、町内での生活を体験できる機会を提供し、移住を支援。宿泊先は、若者定住促進住宅。宿泊期間は最大7泊8日。ただし、オフィス開設を目的とする場合は、1か月以内。

### ● 空き家改修事業補助金

「空き家バンク」の登録物件を購入又は賃借する方が、物件を改修する場合に補助（1/2補助）。  
※空き家バンク：町内の空き家を売却・賃借したい人と居住するために利用したい人をつなげる制度。

### ● 若者定住促進住宅

町内に定住を希望する若者が、住居を確保するまでの間、居住のための住宅を提供。戸数は16戸。

## 6 首長からひとこと

### 豊かな自然に抱かれてかがやく未来

### ～わくわくと 共に育てよう川根本町の子どもたち～



本町では、“子どもたちがすこやかに育ち、未来を切りひらく力を身につけていけるよう、地域住民、各種団体、学校、企業、行政など地域社会全体で子どもたちを見守り、支え、喜びあえるまち”の実現に向けて、子ども・子育て施策の推進に取り組んでいます。

川根本町長 鈴木 敏夫